

平成27年度第2回理事会議事録

- 1 日 時 平成27年12月5日（土） 14：00～17：50
- 2 場 所 岸記念体育館5階 504会議室（東京都渋谷区）
- 3 出席者（敬称略）
＜理事＞宮本英尚、中村一生、佐々木健治、物江 毅、廣岡覚弘、蜂須 貢、山口真人、三浦浩、澤千代美
理事総数12名のうち出席9名で、定款第30条に基づき理事会成立。
＜監事＞古川晴雄、山田寛之、中谷幸市
＜陪席＞阿南喜裕（技術委員会）、古城資久（国際委員会）、須藤ゆき（アンチ・ドーピング委員会）、横井恵一、小森正昭、古澤昌彦、緒方浩一、杉本徹平

4 議 事

4. 1 審議事項

（1）第1号議案：平成27年度上期事業報告について

- ・佐々木専務から、「資料1」に基づいて、次の活動実績に関する説明がなされた。

- ① 全国的競技会の開催概要
- ② 国際的競技会への選手・役員等の派遣
- ③ 指導者及び公認審判員養成事業の推進
- ④ アンチ・ドーピング事業の推進
- ⑤ 主催競技会の運営に関する事業
- ⑥ 広報活動に関する事業
- ⑦ 公益法人としての組織体制整備と強化に関する事業
- ⑧ 加盟組織の基盤強化・充実に向けた事業
- ⑨ 財務基盤の確立に関する事業

以上の項目について、審議を諮り異議なく承認された。

（2）第2号議案：平成27年度上期収支決算報告について

- ・物江常務から、「資料2」に基づいて、次の事項について説明がなされた。

- ① 貸借対照表
- ② 財産目録
- ③ 活動計算書
- ④ 損益計算書
- ⑤ 特定非営利活動に関わる事業会計損益計算書

以上の項目について、審議を諮り異議なく承認された。

（3）ドーピング問題について

- ・第3号議案：陽性反応選手の件

中村副会長から、「資料3」に基づいて以下の説明がなされた。

- ① 処分は、出場した第44回全日本男子パワーリフティング選手権大会で獲得したメダル、賞状、文部科学大臣杯を本部に返還、順位、記録も抹消する。
- ② 平成27年7月30日から4年間の資格停止。停止期間中、公式競技会への運営参加、協力、補助、セコンドを含む選手支援等の一切を禁止する。

以上の項目について、審議を諮り異議なく承認された。

- ・上記の処分とは別に、次の項目について審議を諮ったところ、異議無く承認された。
 - ①当該選手が担当している国際委員会の委員の辞任届が提出され、JPA本部で受理した。
 - ②当該選手の所属する団体「岡山大学陵門会」と岡山県協会には、資格停止期間中の当該選手の行動について監視するように要請し、定期的にJPAへ状況報告をしてもらう。
 - ③今後の対応として、JADAからの陽性反応通知を受けてから、JPAとして当該選手との接し方、JADAへの対処等に関してルールを作成する。
 - ・第4号議案：再発防止の徹底に向けた対応策の件
中村副会長から、「資料4」に基づいて、以下の対応策について説明がなされ、審議を諮ったところ異議なく承認された。
 - ①「アンチ・ドーピングの誓い」を唱和することに関して、唱和する項目数が多い、又、誓約書の一部にあいまいな記述があるので修正が必要ではないかという指摘があり、見直すこととした（見直し後の文書は添付資料として追加）。尚、主管協会ではアンチ・ドーピング唱和の様子を撮影し、この写真を技術委員会に送付することを義務付けし、写真の添付がない場合は公認大会としないこととした。
 - ②全日本大会、ブロック大会の出場申込書と同時に、アンチ・ドーピングに関する誓約書を提出する。
 - ★誓約書について、地方大会でも実施してよいかとの質問があり、適切なことであり、問題ない旨の回答をした。
 - ③ドーピング講習会について、新規に制定された「ドーピング防止規程」及び関連する「競技者等に関する規程」の中で重要な規定について解説し、周知を図る。
- ※特にドーピング問題に関連して、監事からJPA内の対応を示す必要性があるとの提案があり、速やかに常務会で検討することとした。

(4) 役員の役職見直しと本部体制の強化について

- ・第5号議案：理事の役職変更
宮本会長から、「資料5」について説明がなされ、石井理事が副会長に、山口理事が常務理事に昇格就任することについて審議を諮り、異議なく承認された。
- ・第6号議案：本部の役割変更
佐々木専務から、「資料6」に基づいて、物江常務が事務局長に、横井氏が事務局長代行に、佐々木専務理事が事務局統括に就任する旨の説明がなされ、審議を諮り異議なく承認された。

(5) 専門委員会の充実化について

- ・第7号議案、第8号議案、第9号議案について、組織委員会、フェアプレイ委員会、広報委員会の強化充実を図るため、推薦状を提示して夫々委員長から委員を追加する旨の説明があり、審議を諮ったところ、異議なく承認された。

(6) 第10号議案：高校連盟からの提案

- ・佐々木専務から、スポーツ拠点づくりの助成事業が昨年度で終了したことを受け、「資料

10」に基づいて、今後は高校大会の実行委員会に関東パワーリフティング連盟を加え、審判員の動員要請を支援する等の説明がなされた後、審議を諮り異議なく承認された。

(7) 処分済選手事案の確認について

・第 11 号議案：永久追放選手の対応事案の件

中村副会長から、「資料 11」に基づき、フェアプレイ委員会の検討結果について審議を諮ったところ、異議なく承認された。

尚、その後の対応については、H28 年 11 月 30 日までの状況を確認し、あらためて判断することとした。

(8) 規程類の改定案について

・第 12 号議案：非公認大会参加可否に関するガイドライン制定案・

中村副会長から、「資料 12」に基づいて説明がなされ、審議に諮ったところ、次の通り、第 3 項目の一部に修正を加えることで承認された。

現行：ジム、クラブ等パワーリフティング関連商品を販売する事業者が会員向け又は顧客向けのイベント等で開催される…（中略）…非公認の競技会については、登録選手が経営者、従業員、又は所属会員である場合は、参加を容認し、事前の届け出は不要とする。

修正：ジム、クラブ等パワーリフティング関連商品を販売する事業者が会員向け又は顧客向けのイベント等で開催される…（中略）…非公認の競技会については、登録選手が経営者、従業員、又は所属会員である場合は、スタッフとしての参加を容認し、選手として参加する場合は事前の届け出と理事会の承認を要する。

(9) 第 13 号議案：2018 年世界ベンチプレス大会誘致について

山口理事から、I P F の国際会議の情報とともに、「資料 13」に基づく説明がなされた。

①2016 年世界ベンチは 5 月に南アフリカでギア、クラシックともサブジュニア、ジュニア、マスターズ、オープンの全カテゴリーを開催する。

②大学対抗のワールドカップが新設される。尚、2016 年より国際情勢を考慮して選手団の団長等を JPA 役員が務める事や渡航業務をお願いする旅行代理店は賛助会員の中から選定する事を原則とする。

③2017 年以降は 4 月にクラシックベンチを開催し、5 月にギアベンチを開催する。その他、アジア連盟の情報提供があった。

④2018 年世界ベンチについては、日本での開催が承認された。ただし、開催規模としてサブジュニア、ジュニア、マスターズ、オープンの全カテゴリーの実施が決定。収容人員が当初計画の 2 倍弱と想定されるので、予定していた神戸市開催を前提とする兵庫県協会の提案は、収容人員が 1 か所では確保できないことから、首都圏で開催する方向で準備委員会（委員長：佐々木専務）を立ち上げて進める。その準備委員会で作成する計画書を 6 月開催の世界クラシックパワーの時まで I P F に報告・協議し、承認を得る予定。

⑤現在、神戸市で開催会場の確保をしているが、万一の場合は、神戸開催を予備案としておくこと。

以上の説明がなされた後、審議を諮り異議なく承認された。

(10) 第 14 号議案：平成 28 年度 toto 振興くじ助成事業について

- ・須藤委員長から、「資料 14」及び「資料 15」に基づいて、助成事業を活用して実施する説明がなされ、異議なく承認された。
- ・佐々木専務理事から、「資料 16」に基づいて、助成事業を活用して実施する説明がなされた後、審議に諮り異議なく承認された。

(11) 第 17 号議案：S B D 社スポンサードについて

- ・佐々木専務から「資料 17」に基づいて、説明がなされたが、契約の内、ニーラップ等は選手によってはメーカーに拘るため、チーム全員の S B D 製品の着用義務ができないことから、スポンサード契約を行わないことで合意した。

(12) 第 18 号議案、第 19 号議案、第 20 号議案：技術委員会の通達について

- ・阿南技術委員長から「資料 18」に基づくルールの改正点について、「資料 19」に基づく国際大会毎の国内選考大会及び国際大会参加標準記録について、又、「資料 20」に基づく出場標準記録についての説明がなされ、異議なく承認された。

4. 2 報告事項

- ・スポーツ医科学員会の蜂須委員長から、次のような報告がなされた。
 - ①「資料 21」に基づいて国内審判員対象の普通救命講習会受講についてのご願いに関する件。
 - ②平成 28 年 2 月のジャパンクラシックパワーリフティング大会(於:市原市)において、メーカーの協力により安価に A E D 使用法の講習会が実施できる件。
 - ③パワーリフティング認知度向上のため雑誌刊行の可能性の調査について紹介。

5 配布資料

添付別紙の通り

平成 27 年 12 月 20 日

公益社団法人 日本パワーリフティング協会
平成 27 年度 第 2 回理事会

議 長 宮本 英尚 ㊟

議事録署名人 山田 寛之 ㊟

議事録署名人 佐々木健治 ㊟

公益社団法人 日本パワーリフティング協会
平成27年度 第2回理事会 配布資料

- 1 資料1・・・平成27年度上期事業報告書
- 2 資料2・・・平成27年度上期収支決算報告書
- 3 資料3・・・西村選手の処分に関して（処分検討結果案）
- 4 資料4・・・ドーピング問題再発防止の徹底策に関して
- 5 資料5・・・日本パワーリフティング協会の組織体制改正
- 6 資料6・・・専門委員会・事務局構成員名簿改正案
- 7 資料7・・・組織委員会委員の推薦状及び組織委員会名簿と職務
- 8 資料8・・・フェアプレイ委員会委員の推薦状
- 9 資料9・・・広報委員のプロフィール
- 10 資料10・・・全日本選抜大会及び全国高等学校大会の運営についての提案
- 11 資料11・・・渡辺雄次の処分対応に関する検討結果
- 12 資料12・・・非公認大会参加可否に関するガイドライン
- 13 資料10・・・日本選抜大会及び全国高等学校大会の運営についての提案
- 14 資料11・・・渡辺雄次の処分対応に関する検討結果
- 15 資料12・・・非公認大会参加可否に関するガイドライン
- 16 資料13・・・2015 I P F 総会と世界ベンチについて
- 17 資料14・・・平成28年度ドーピング検査予定大会並びに検体数
- 18 資料15・・・平成28年度パワーリフティング協会ドーピング防止講習会予定
- 19 資料16・・・ジャパクラシックパワーリフティング大会の収支計算書
- 20 資料17・・・S B D社2016年スポンサー契約
- 21 資料18・・・ルール変更に関する通達
- 22 資料19・・・国際大会派遣選考基準
- 23 資料20・・・平成29年度J P Aが主催する全国規模の競技会における出場標準記録について
- 24 資料21・・・国内審判員対象の普通救命講習会受講についてお願い